

大学名 鹿児島大学

第63号 特集テーマ「学生支援」
特集タイトル「みんなで支えるキャンパスライフ」

表題 心身ともに充実した学修生活を支えるための健康支援システムの構築

特色ある取組

医学部保健学科(看護学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻)では、**ウィズコロナ・アフターコロナ時代に対応した学生の心身ともに充実した学修生活を支援するための健康支援システムを構築し、学生生活を積極的、総合的に支援**しています。支援内容としては、クラウド型教育支援サービス・学生担当教員制度による健康状態の把握と早期対応、ピアサポート支援体制による学修生活支援、COVID-19メンタルヘルス相談員制度によるメンタルヘルス支援等により学内の専門的機関と連携した健康支援システムを構築しています。

クラウド型教育支援サービス

オンラインによる健康管理システム

個々の学生は毎日、健康状態をセルフチェックし、クラウド型教育支援サービスへ結果を入力し、健康管理をしています。



クラウド型教育支援サービス

ピアサポート支援体制

学年を越えた学生同士のネットワーク構築の促進

看護学専攻独自のピアサポート支援体制を整えています。看護学専攻に在籍する学生が同級生と先輩が相互に支え合い学修生活を支える活動として、各学年10名ずつの学生にてグループ編成を行い、学年をこえて相談、協力、連携しています。



学生同士の支援

学生担当教員制度

オンラインと対面を組み合わせた、きめ細やかでスピーディな支援

複数の教員が複数の学年を担当

学修支援や生活支援のために、学年をこえて相談、協力、連携のために学生担当教員制度を採用しています。本制度は、教員3名体制とピアサポート支援体制を基とした各学年10名ずつの学生にてグループ編成しています。

学生への個別対応

担任教員は毎日、クラウド型教員支援サービスを用いて学生のセルフチェックの結果を把握しています。体調不良等の学生に対しては、スピーディに個別対応し、必要となる支援につなげています。

感染症状出現時等の教員による対応

個別支援による学修計画

専門教員による学生への個別対応

多様な学生の健康状態や学修生活に際し、担任教員が医師等専門職へタイムリーにつなげ、個別対応による学修計画を立案しています。

COVID-19メンタルヘルス相談員制度

ウィズコロナ・アフターコロナ時代に対応したメンタルヘルス支援

2020年度より医学部学生生活委員会内に「COVID-19メンタルヘルス相談員」制度を新設しました。精神科医3名と精神看護を専門とする看護師1名の相談員にて学生のメンタルヘルスに対する相談対応をしています。

本制度は、学生の心身の健康を支援するために保健管理センターと障害学生支援センターへつなげることを目的としています。ウィズコロナ・アフターコロナ時代に対応したメンタルヘルス支援を行っています。



相談員による対応

学生支援係や学内の学生生活支援委員会、学生何でも相談室、医学部ピアサポート制度等とも連携しています。学生の健康状態に応じて、学外の専門相談、専門医療機関等につなげています。

期待できる成果・評価 など

学修生活を支えるための健康支援システムの構築のためには、学生生活を積極的、総合的に支援していくことが必要です。すべての学生に心身ともに健康で充実した学修生活を確保し、包摂的かつ公平で質の高い教育を提供するための支援の推進が期待できます。

参考URL

鹿児島大学HP
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/>

鹿児島大学医学部保健学科HP
<https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~health>